

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)	◎	コンビニ（エリア担当）	・金融緩和が続いている間は問題ないと感じている。
	◎	高級レストラン（経営者）	・各種クーポン券の効果もあり、忘新年会も小規模ではあるが、確実に増えてくる。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・今月相談に来た方は、当社で葬儀を行った客から話を聞いてきたという人がほとんどである。また、近隣市町村からの葬儀依頼も増えている。
	○	商店街（代表者）	・来月から新年度の採寸が始まる。1月からは新入生向けの販売も始まるので期待している。
	○	商店街（代表者）	・年内は全国旅行支援による人出増加で、期待ができる。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	・今後、プレミアム付商品券の発行により、客の消費が少しずつ上がっていくのではないかと期待できる。
	○	百貨店（店長）	・地方でも普通の生活が戻ってきて、観光客も増えており、売上も少しずつ回復してきている。ただし、重要な顧客である高齢者層の戻りは鈍い。今後の物価動向や新型コロナウイルス感染症の状況も読めないので、3か月後を予想するのは難しい。
	○	コンビニ（経営者）	・クリスマス等もあるので、売上は上がってくるとは思う。光熱費などの上昇で、経費の増加も懸念している。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新型車効果もあり、新車受注は堅調に推移すると思われる。新車供給の急激な回復は見込めないものの、受注残が徐々に売上につながると見込んでいる。
	○	自動車部品販売店（従業員）	・全国旅行支援等が始まり、外出機会が増え、来客数等も前年を超えるものと予想される。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・人出が良くなっている。飲食店も徐々に動き始めた様子である。全体的に人の流れが良くなり、忘年会等は3年間できなかったので、今年こそ今より良くなるのではないかと。
	○	一般レストラン（経営者）	・この分だと新型コロナウイルス感染症に関する行動制限は緩くなると思うが、円安の影響や全ての物の値上がりは小さな飲食店にとって、非常に大きな打撃となっている。
	○	スナック（経営者）	・以前の新型コロナウイルスの感染の波と同じような動きなので、同程度かと思っている。新型コロナウイルスオミクロン株用のワクチン接種効果が出てくれることを祈って、希望的な予想をしている。
	○	スナック（経営者）	・これから年末に向かって忘年会シーズンになるので、飲みに出掛けるケースが増える。ただし、例年とは違い、スタッフ不足やいろいろな問題があるので、客が来てくれても、なかなか全部を受け入れることが難しいなかで、何とか売上を立てなければならない。新型コロナウイルス感染症の影響で、スタッフがかなり抜けてしまっており、現段階では補充が難しい。厳しい状況がしばらくは続く。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援が続けば、落ち込むことなく推移していく。しかし、材料費等の価格高騰による消費マインド低下がどこまで影響するかは分からない。支援策の延長等による消費マインド向上に期待したい。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・来月以降も、外国人のグループを含め、宿泊はかなり増えると予想している。また、官公庁からの忘新年会のリクエストも出始めている。これから、更に良くなっていくと思うが、懸念しているのは電気代、原材料等の価格高騰で、バランスが非常に難しいと思っている。
○	遊園地（職員）	・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、感染対策を徹底し万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの来園客を期待する。	
□	百貨店（経理担当）	・価格改定の影響で、購買意欲は上向いている気配がない。	
□	百貨店（営業担当）	・このところ物価が高騰し、食品、ガソリン、燃料等が軒並み値上がりしている。政府の経済対策に即効性があるのかどうか何ともいえないので、当分景気はそれほど良くならない。	
□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第8波がやってくるらしく、新規感染者数も増えてきているようである。イベントが増えてきているので、前年を超えられるよう頑張りたい。	

□	コンビニ（経営者）	・いろいろな物の値段が上がっており、客は比較的単価の安い商材に向かっているようで、コンビニ業界はやや厳しい面がある。それでも、来客数はそれほど変わらないので、売上自体は横ばいである。
□	コンビニ（店長）	・季節ごとの上下は3か月後となると多少はあると思うが、動きとしては余り変わらないような気がする。
□	衣料品専門店（経営者）	・従来、冬季や年明けの1～2月は良くない。
□	家電量販店（店長）	・世論に好材料がない。
□	一般レストラン（経営者）	・現状のような不安定感が否めない状況が続くそうである。新型コロナウイルスのワクチン接種の状況次第では、良くなるような雰囲気はある。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、悪くなるような気がする。これ以上悪くなったらどうしようもないと思っているが、いろいろな問題で、現状ようになったのは初めての経験である。本当に地方は困っている。
□	旅行代理店（副支店長）	・全国旅行支援の影響で、需要が増加していることは確かである。ただし、為替相場の不安定さにより、先行きが不透明なこともあり、このまますんなり年末の旅行需要や予約が回復することは難しい。全ての物価が上昇しているため、消費減退となる。現状のまま年末を迎えたとしたら、余り変わりがない。
□	タクシー運転手	・マスクを外して、新型コロナウイルス感染症の発生前の状況に戻らない限り、今のまま平行線になっていくのではないかと。
□	通信会社（社員）	・カタールで開催されるサッカーワールドカップの効果で、4Kテレビの需要は多少高まると思うが、大きな動きにはつながらなさそうである。年度末に向けた刺激策が必要になる。
□	観光名所（職員）	・全国旅行支援は観光事業にとっては有り難い施策だが、いつまでも続くものではなく、中長期的な景気回復への期待は持てない。原材料や光熱費の値上がりによる支出の増加に対して、収入は変わらないのでつらい。
□	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響で消費が減った上に、原油価格高騰がいまだに続いているので、ここ3年は、余り変わらない。
□	設計事務所（職員）	・このまましばらく、人手不足の状況が続くそうである。
□	住宅販売会社（経営者）	・燃料、電気代、原材料価格の高騰等の影響により、経費増加は続いている。
▲	商店街（代表者）	・年末に向けての盛り上がり期待したいが、今の雰囲気からは全く期待できない。
▲	一般小売店 [家電]（経営者）	・ほとんどの物が値上がりしていくなか、買いだめ、先買いは見られず、消費意欲はますます低下している。半導体不足等の影響で、販売する製品も限られ、価格も都度照会しないとしない状況で、小売業には厳しいものがある。
▲	スーパー（経営者）	・電気料金の上昇や商材価格の値上げに、家計がどこまで耐えられるか疑問である。
▲	スーパー（副店長）	・新型コロナウイルス感染症、円安、物価上昇、ロシアや北朝鮮問題等、将来に不安しかない。
▲	コンビニ（経営者）	・これから冬場に入るので、今よりは少し悪くなると思うが、前年よりは良くなるのではないかと。
▲	コンビニ（経営者）	・相次ぐ商材の値上げで、やや悪くなる。
▲	観光型旅館（経営者）	・10月は全国旅行支援の開始と行楽シーズンが重なったため、ほぼ新型コロナウイルス感染症の発生前の売上に戻っている。しかし、3か月先の冬の需要を考えると、新型コロナウイルス感染症の発生前は新年会等の団体やインバウンドが多かったが、これらはまだ以前のように回復しないと予想している。また、全国旅行支援に変わる対策等がまだ不明なため、やや悪くなる。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援が終了するので、やや悪くなる。
▲	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・今後、光熱費の上昇や物価高騰等、マイナス要因が減れば期待はできるが、そもいかない状況が続く。
▲	設計事務所（経営者）	・資材の値上げの影響で、新設物件の計画が停滞している。

		一般小売店〔業〕（経営者）	・現状では、新型コロナウイルス感染症対策の助成金は今年度で廃止予定になっている。円安対策、日本の競争力、物価高騰を抑制するような補助金等も余り考えられず、政府で徹底的な経済政策をしてもらいたい。そうしないと本当に日本は沈んでしまう。このまま商売が続けられるかどうか、本当に疑問に思う。よろしくお願ひしたい。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	食料品製造業（営業統括）	・円安に伴い、今年のボジョレーヌーヴォーの価格は、1.5～2倍に高騰しており、酒販店では比較的安価な国産ワインの仕入れを増やす動きがみられる。このような状況を踏まえて、多くの県内ワインメーカーでは、例年の約2倍の製造量を計画している。
	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調である。
	○	—	—
	□	食料品製造業（総務担当）	・為替相場の影響次第である。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・クリスマス商戦に向かい、ワークショップ等の動きには期待できるものの、商材受注の予測は立たない。いろいろと試行錯誤してできることは進めているが、気掛かりなことばかりである。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・生産量は確保されているものの、部品の不足や遅延が続き、計画どおりには進まない。
	□	建設業（経営者）	・しばらくは現在の景気が続くのではないかと。今後は、雇用に注意し、一部の資材在庫を増やすように心掛けていく予定である。
	□	金融業（調査担当）	・製造業は半導体や部材調達難の状況が続くものの、電子部品や生産用機械の受注は、年内は底堅く推移する見通しである。非製造業は観光面で全国旅行支援による需要増加が期待されるが、人手不足感が強まっており、急な需要増加に対応できず、人件費や材料コストの増加が収益面を下押しすることも予想される。
	□	金融業（経営企画担当）	・全国旅行支援や経済対策による一時的な景況回復はあっても、原材料価格高騰等の構造的な要因が解消されなければ、景況の回復は難しい。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・円安や海外の政情不安等、物価高につながる要素が多く、今後も現状の傾向が続くと予想される。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・値上げしたタイミングで、翌月にまた主原料の値上げの話が来ている。せっかく動き始めたところに、水を差された感じではあるが、更なる円安も含め、原材料の天井価格が幾らになっていくのか、いつごろまで続くのか、不安しかない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・値上げの影響で、消費者の購買行動が変化しており、耐久消費財の買換えを控える等の影響が懸念される。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・製造原価が上がっているため、売上があっても利益が出ない状態が続くそうである。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・11～12月は催事も多く、売上自体は回復してくると思われるが、金、ダイヤモンド等の材料価格高騰や円安で商材の調達が難しくなっている。今後は、1年前の商材と比べて30%から50%近く値上がりしている新商材の価格差から、収益は大きく減少する。
×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。	
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	求人情報製作会社（総務担当）	・これだけ社会的に動きが活発になってきているので、普通なら良くなっていく。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、経済が動いているものの、国際情勢の動向や物価高騰等が雇用に与える影響に、引き続き十分注意する必要があるため、状況は変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・コロナ禍による行動規制の緩和から、宿泊、飲食業関連の求人は増加が見込まれるが、原材料の高騰や円安等の不安要素もあり、全体としては大きな変化はない。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・賃金格差が拡大し、貧富の格差がもっと出てくるのではないかと。当然、購買意欲も湧かない。旅行に特化した政策だけでは何も役に立たない。

	▲	職業安定所（職員）	・原材料や燃料等の価格高騰や物価高による影響が、生産活動や日常生活において深刻化する。
	×	—	—